



# Isis

REMOTE CONTROLLER

For Pyramix and VCube

ユーザー・マニュアル



**This Page is Blank**

## Chapter 1 - Introduction

### Thank you!

この度は、Merging TechnologiesのISISリモートコントローラーを御購入頂き有難うございます。PyramixとVCubeの専用コントローラーISISは、オペレーションを軽快に行うことを目的としております。

### ISIS Remote Controller Overview

ISISはユーザー設定が可能なリモート・サーフェスです。Pyramix、VCubeとの接続は、イーサネットを介してMergingのOASISコントロール・プロトコルにより、高解像度、高速に行われます。

ISISのメインユニットは、マシンコントロール用のキー、Jog/シャトルとJogホイール編集、大型LCDディスプレイと12個のユーザー設定用マルチファンクション・キーが装備されています。全てのキーはソフトウェアによるユーザー設定が可能です。

また最上部には、ユーザー設定可能な2レイヤーを持った24個のキーが配置されており、48のsolo/mute/track arming、ロケーター、cueトリガなどのダイレクトアクセスが可能となっています。高品質の100mmタッチセンサー付きモーターフェーダーは、ミキサーのどのチャンネルにもアサインが可能です。Mute、Solo、Automation Read/Writeなどの機能もコントロールが可能です。

さらに高機能なミキサーコントロールを行うために、オプションとして8本のフェーダーユニットとロータリーコントローラーの付いたフェーダー・エキスパンションが用意されています。各フェーダーには、Mute、Solo、Automation Read/Write用のキーが装備されています。

フェーダーユニットはバンク切り替え用のキーも装備されており、多くのチャンネル・ストリップにレイヤー切り替えでアクセスすることが可能です。このフェーダー・エキスパンションは、メインユニットとRS-232により接続されます。



## Chapter 2 - Installation

### System Requirement

ISISリモートコントローラーは、Pyramixソフトウェア・バージョン 5.0.6 ( beta ) 以降のMykerinos ( ミケリノス ) ベースのPyramixシステムと動作します。ホストPC側には必ず10Base T以上のRJ45イーサネット・ネットワークが装備され、正しくTCP/IPが動作している必要があります。

### Positioning

ユニットは外部から熱の影響を受けない適当な場所に設置して御使用ください。また、ケーブルは緩みや引っ張りの無いよう配線し、正しく接続してください。

### Connections – ISIS Controller Main Unit

**Note** : ISISを接続する前に、PCとネットワークスイッチの電源をお切り下さい。またISIS用電源アダプターをコンセントから抜き、ISISの電源をオフにした状態で電源アダプターを接続してください。

ISISリモートには3つの接続用コネクタがあります。D-Sub15ピンのコネクタは、フェーダー・エキスパンションとの接続に使用します。

### Connections – ISIS Fader Expansion Unit

フェーダー・エキスパンションには、コネクタが1つしか装備されておりません。D-Sub15ピンのコネクタは、メインユニットとの接続に使用します。

### NETWORK RJ-45 Jack

Cat-5ケーブルを使用し、ホストPC ( 或いはネットワークスイッチ ) と接続してください。

**Note** : ISISはネットワークスイッチとも互換がありますが、ホストPC側に余っているRJ-45ネットワークコネクタがあれば、そちらをご使用ください。

### EXPANSION Socket

フェーダー・エキスパンションを同時に使用される場合は、付属のD-sub15ピンケーブルにより接続を行ってください。コネクタソケットのネジは、やさしく締めてください。

### Software

必要なドライバーは全てPyramixのインストーラーに含まれています。追加ドライバーは必要ありません。

**Note** : このマニュアルはSoftware Version 1.0の **ISIS** について書かれています。

[www.merging.com](http://www.merging.com) でアップデートがないかお確かめ下さい。

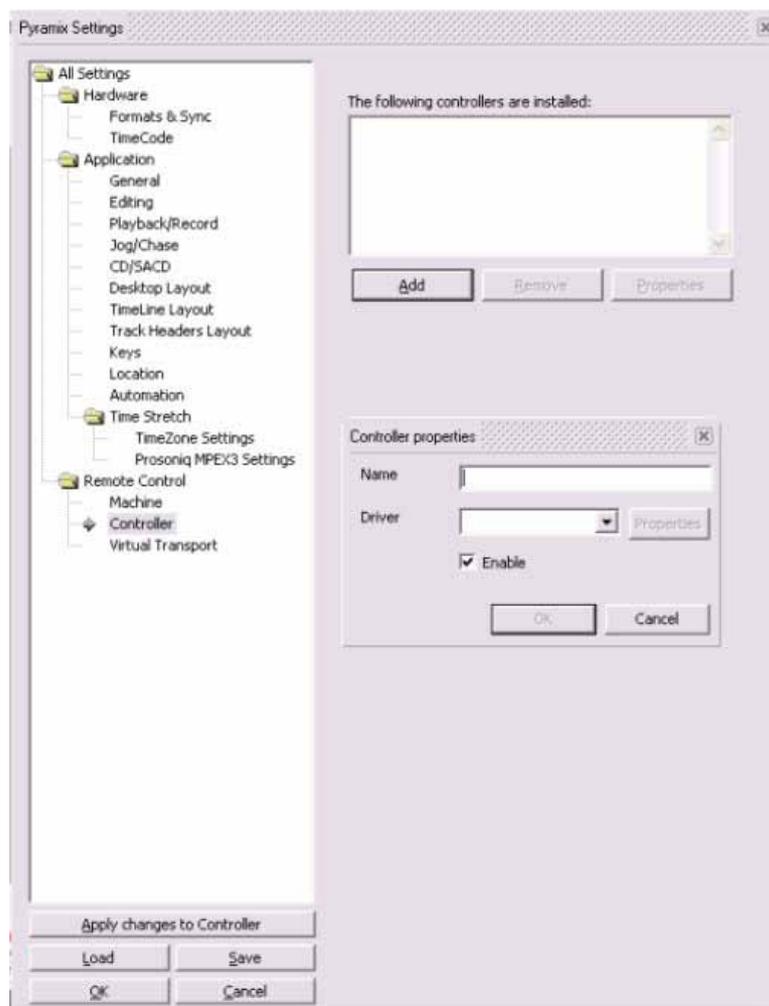
## Chapter 3 - Power up and Initial Configuration

### Power up sequence

- ISISリモートコントローラーに電源アダプターを接続し、電源コンセントに接続してください。
- ISISリモートコントローラーの背面にあるパワースイッチを入れてください。MERGINGロゴが青色に点灯し、LCDが表示を開始します。
- ホストPCを起動し、Pyramixをスタートさせてください。

### Initial Configuration

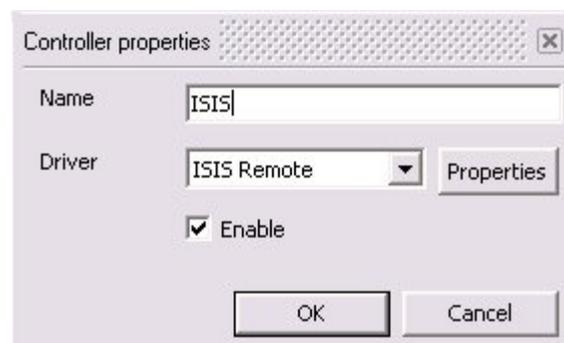
- シンプルなプロジェクトをロードしてください（または新しく作成してください）。
- **Settings > All Settings** に行き、**Remote Control** フォルダにある **Controller** をクリックし、ページを開いてください。
- **Add** ボタンをクリックし、**Controller Properties** ダイアログを開いてください。



- 適当な名前をISISリモートコントローラーに付けてください（例：ISIS）。
- Driver のドロップダウン・リストから **ISIS Remote** を選択してください。



- **Enable** のボックスにチェックが入っていることを確認してください。
- **OK** ボタンをクリックし、ダイアログを閉じてください。



**Note** : ISISはネットワークスイッチとも互換がありますが、ホストPC側に余っているRJ-45ネットワークコネクタがあれば、そちらをご使用ください。

イーサネットがDHCPサーバーを持ったルーターに接続されている場合、或いはDHCPサーバーを持ったネットワークに接続されている場合、ISISのIPアドレスは自動的に設定されます。この設定を変更する必要がある場合は、この章の最後にある “ **Changing ISIS IP Address** ” を参照して変更してください。

- 左下の**OK**ボタンをクリックし、**Pyramix Settings** のウインドウを閉じてください。

これで設定は完了です。

## IPアドレスの設定

ISISは、DHCPサーバーから自動的にIPアドレスを割り振られます。  
DHCPサーバーがない場合、ISIS-RCは保存されていた静的IPアドレスを割り振ります。

**Note** : 静的IPアドレスは、DHCPにより他のアドレスが割り振られなかった場合のみ使用されません。

### Setting the Static IP Address

-----

電源を入れる時にSTOPボタンを約5秒間押し続けます。

スクリーンには、現在のアドレスが表示されます。

IPアドレスはDHCPより与えられたものか、自動設定した静的アドレスです。

スクリーンにはMACアドレスも表示されます。

IPアドレスを設定するには、カソール LEFTキーとRIGHTキーを使ってIPアドレスのフィールドにカソールを移動させます。

IPアドレスとNET Mask のフィールドを移動するには UP と DOWNキー を使用します。

IPアドレスとNET Mask を変更するには、一番上にあるTRACK SELECT 1-10 キーを使用してください。

IPアドレスとNET Maskの設定が終わったら SET キー (F12) を押して保存してください。

これにより内部の静的アドレスが設定され、DHCPで設定されない場合に使用されます。

SETキーが押された後、下図が表示されます。

REBOOTキー(F12)を押すか、電源スイッチのOff/OnによりISISを再起動させてください。

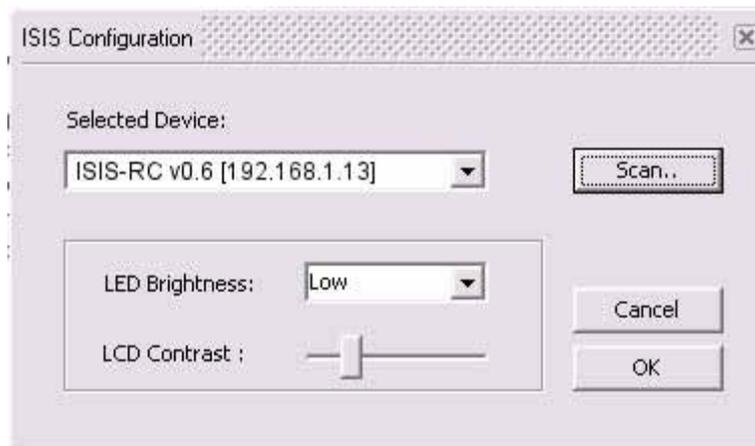
### Viewing the IP Address IPアドレスの確認

現在設定されているIPアドレスはISISのコンフィグレーションダイアログで確認できます。

## Chapter 4 - LCD Contrast & LED Brightness

スイッチの照度の調整が必要な場合、**Settings > All Settings**で**Remote Control** フォルダの**Controller** をクリックします。

**ISIS** (またはISISに付けた名前) をクリックで選択し、その **Properties** をクリックすると、下図のような **ISIS Configuration** ダイアログが表示されます。



### LCDコントラスト

**LCD Contrast** のスライダーを調整すると、ISISディスプレイの輝度調整ができます。

### LEDブライトネス

**LED Brightness** のコンボボックスでLEDの輝度調整を行います。

設定が終わったら **OK** ボタンをクリックしダイアログを閉じてください。

## Chapter 5 - The Default Configuration

ISISにはデフォルトのコンフィグレーションが組まれており、インストール直後から使用することができます。

ISISの殆どのキーはユーザー設定が可能です。慣れるまでの間はそのままで御使用されることをお勧めします。

### Surface Labels

ISISサーフェス上の黒文字は、各キーのデフォルトの機能を表しています。

### The **SHIFT** key

多くのキーは **SHIFT** キーを押しながら押すことで別の機能を果たします。サーフェス上のオレンジ色文字は**SHIFT** キーによる機能を表しています。

### Channel Strip Functions

ISISメインユニットのチャンネル・ストリップは、デフォルトで **Master/Monitor Strip** にアサインされています。

このストリップは下記のようにコントロールされます：

- エンコーダー モニターボリューム
- エンコーダー (押す) モニター・リファレンス・ボリュームのリセット
- **PLAY** マスターのオートメーション再生
- **SHIFT** + **PLAY** マスター/モニター・パスのオートメーション再生
- **WRITE** マスターのオートメーション書き込み
- **SHIFT** + **WRITE** マスター/モニター・パスのオートメーション書き込み
- **PLAY & WRITE** 点灯 Auto-Write
- **PLAY & WRITE** 消灯 Off/Isolate
- **MUTE** モニターボリュームのミュート
- **SOLO** モニターボリュームのdim
- **FADER** マスターのゲイン

ISISメインユニットのフェーダーは、Pyramixのどのミキサーストリップにも割り当てることができます。設定には'Chapter 5 – User Configuration'を参照してください。

### LCD Display and Function Soft Keys

LCDディスプレイには、再生ヘッド・カーソルの位置を表示する時間が表示されます。タイムコード値は全てのページの中央に表示されます。F1からF12のラベルが付けられたキーは2列に分れ、機能はLCDに表示されています。

上の図は、ISISが **Settings** メニューで **enabled** になっている時か、ISISがenablesになっているプロジェクトがロードされた時に表示される、最初の固定のページです。

### Navigating LCD Pages

**MORE** とラベルがついている **F12** は全てのページをサイクルで表示していきます。**F12** は現在 **MORE** にのみ割り当てられていますので、全てのページに **MORE** が有ります。ページは下記の順に現れます。

- トラックセレクト・キーとMakers (固定ページ)
- マシンセレクト (固定ページ)
- デフォルト・ユーザーページ 1 (ユーザー設定可能)
- その他のユーザーページ (ユーザーにより設定)
- モニタリング (固定ページ)
- **MORE**を数度押すことで最初のページに戻ります。

## Track Select Key Functions and Makers page

LCDの最初の固定ページはトラックセレクト・キーとロケート・マーカの機能を設定するページです。デフォルトでは、トラックセレクトの1から24のキーは、**SELECTOR 1**から**SELECTOR 24** (**SHIFT**を押しながら**SELECTOR 25**から**SELECTOR 48**) にアサインされています。これらはユーザーによる変更はできません。このページのF1からF6キーはトラックセクターと組み合わせて、どの様に機能させるかを決定します。

- F1 RECARM** (Record Arm) 続けて押されるトラックキーの1回押しで、該当するトラックをARMモードにします。2回目でSafeに戻ります。
- F2 RECMODE** (Record Mode) 続けて押されるトラックキーの1回押しで、該当するトラックをARMに、2回目でPunchに、3回目でSafeに戻ります。
- F3 Solo**  
**F4 Mute**  
**F5 MONITOR** 続けて押されるトラックキーに該当するトラックのモニターモードを**Replay, Input, Auto**に切り替えます。
- F6 Select** 続けて押されるトラックキーに該当するトラックをセレクトします。
- F7, F8 Set Maker**モード  
現在プレイヘッド・カーソルがある位置に1から10のマーカを打ちます。マーカはPyramixのスクリーン上に2つの数字を持って表示されます。ブラケットに入っている最初の数字は、トラックセレクト・キーの番号を表しています。2番目の数字は、Makersリスト中の番号を表しています。
- F9, F10 Goto Maker**モード 続けて押されたトラックキーに該当するマーカにロケートします。
- F11** アサイン無し  
**F12 MORE**

### Machine Select page

このページでは、5台までのマシンを **F1**から**F5** に表示します (**F1** はインターナル・マシンで、常に表示されます)。 **F1**から**F5** を押すことで、該当のマシンをセレクトします。 **F7**から**F11** は、上に表示されているマシンのチェイス・ステイトとなっています。 **F7**から**F11** を押すと、該当するマシンはチェイスとなります。 **SHIFT**キーを押しながら **F7**から**F11** を押すと、該当するマシンは **AUTO CHASE** となります。

### First User page (default)

このページのアサインはユーザーにより変更が可能です。プリセットされている機能は下記です。

<b>F1</b>	<b>ZOOM +</b> (Zoom In)
<b>F2</b>	<b>ZOOM -</b> (Zoom out)
<b>F3</b>	アサイン無し
<b>F4</b>	アサイン無し
<b>F5</b>	<b>Group</b>
<b>F6</b>	<b>UNGRP</b> (Ungroup)
<b>F7</b>	<b>ZM FIT</b> (Zoom to fit in window)
<b>F8</b>	<b>ZM PREV</b> (Zoom Previous)
<b>F9</b>	<b>UNDO</b>
<b>F10</b>	<b>REDO</b>
<b>F11</b>	アサイン無し
<b>F12</b>	<b>MORE</b>

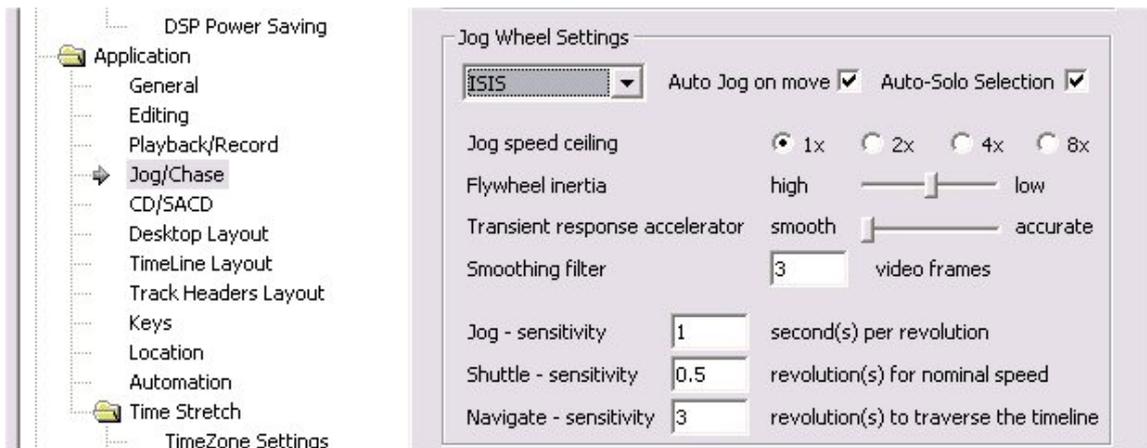
### Monitor Page

このページはPyramixのモニター機能を下記のようにコントロールします。

<b>F1</b>	<b>L</b>	左スピーカーのミュート	<b>SHIFT + F1</b>	左インナースピーカーのミュート
<b>F2</b>	<b>C</b>	センタースピーカーのミュート		
<b>F3</b>	<b>R</b>	右スピーカーのミュート	<b>SHIFT + F3</b>	右インナースピーカーのミュート
<b>F4</b>	<b>INPUT +</b>	次の入力をモニター	<b>SHIFT + F4</b>	一つ前の入力をモニター
<b>F5</b>	<b>SPKR +</b>	次のスピーカーセット	<b>SHIFT + F5</b>	一つ前のスピーカーセット
<b>F6</b>	<b>DMIX +</b>	次のダウンミックスをモニター	<b>SHIFT + F6</b>	一つ前のダウンミックスをモニター
<b>F7</b>	<b>LS</b>	左サラウンドスピーカーのミュート		
<b>F8</b>	<b>LFE</b>	サブウーファアのミュート		
<b>F9</b>	<b>RS</b>	右サラウンドスピーカーのミュート		
<b>F10</b>	<b>RESET</b>	スピーカーをリセット		
<b>F11</b>	<b>OPMODE</b>	モニターオペレーションモード, スピーカーのMute, Solo, SoloXをサイクル		
<b>F12</b>	<b>MORE</b>			

## Chapter 6 - Jog/Shuttle Tuning

Jog/Shuttleのパフォーマンスの調整は、Settings > All Settings > Application > Jog/ChaseページのJog Wheel Settingsで行います。



### Jog Wheel Settings

コンボボックスで、各ハードウェア・コントローラーのプリセットが選択できます。ISISがセレクトされていない場合は、まずセレクトしてください。

- Auto Jog on move** この項目にチェックが入っている場合、ISISのJOGホイールを回すとJOGモードとなります。チェックが入っていない場合、**JOG**ボタンを押さなければJOGモードに入りません。
- Auto-Solo Selection** この項目にチェックが入っている場合、JOGの時に、セレクトされた場所の全てのトラックがソロになります。
- Speed ceiling** JOGの最高速の設定です。プレイスピードの、1x, 2x, 4x, 8x から選択できます。
- Smoothing Filter** Smoothingフィルターは、JOG開始と終了時のフェードイン/フェードアウトの長さを決めます。適当な値を入力してください。単位はビデオ・フレームです。
- Flywheel inertia** スライダーがlowではJOGホイールから実際に送られる動作に追従します。highはSmoothingフィルターを通った値となります。従って、lowに設定するとSmoothingフィルターのパラメーターは無効となります。  
ポストプロダクションなどの用途ではビデオとのタイトなシンクが必要ですので、low方向に調整します。中間の位置から設定を開始してみてください。
- Transient response accelerator** PyramixのJOGの動きへの反応を最適化するパラメーターです。スライダーをAccurateに近づけると、期待していない効果が起こるかもしれません。

**Jog – sensitivity – second(s) per revolution**

JOGホイールの1回転で動くタイム分を決めます。適当な値を入力してください。

**Shuttle – sensitivity – revolution(s) for nominal speed**

ノーマルスピードを維持するために回さなければならない量を決定します。  
例えば、0.25では時計方向に1/4回すとノーマルスピードとなります。

**Silent Jog – sensitivity – number of revolutions to traverse the timeline**

画面をカーソルが横切るのに、何回転JOGホイールを回さなければならないかを  
決めます。

**Note :** JOGホイールの設定を変更するとコンボボックスはUser Definedに自動的に変更されます。この設定値はPyramixの設定としてセーブ、ロードできます。

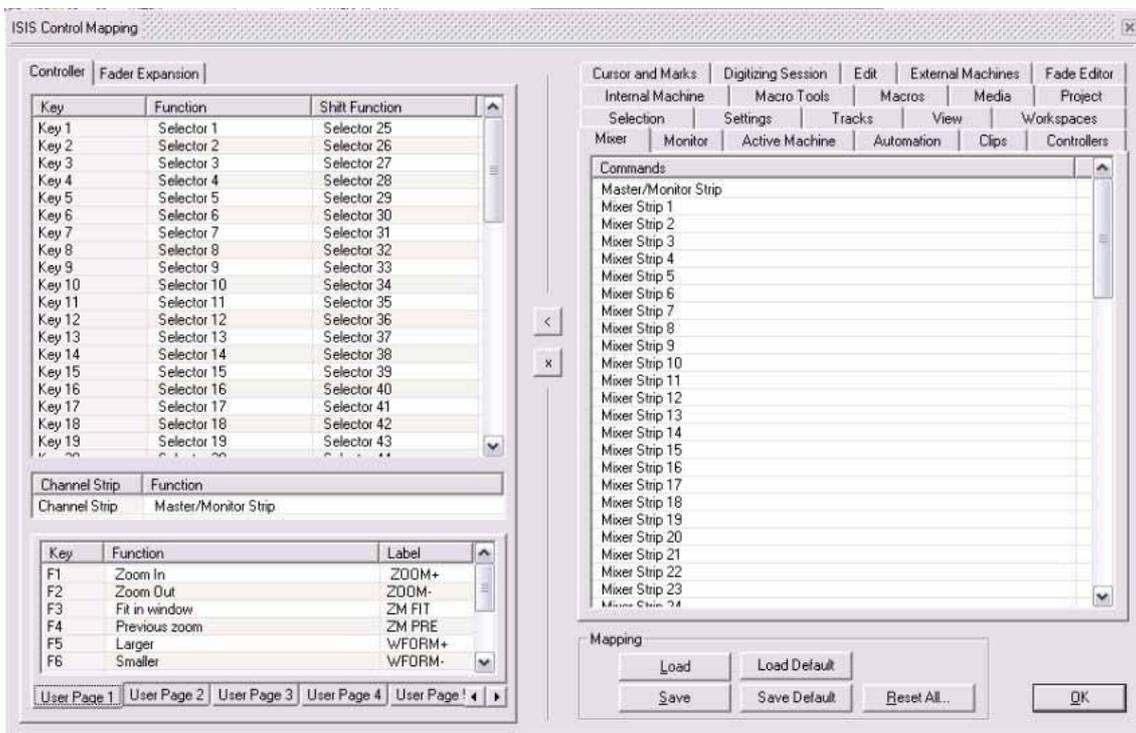
## Chapter 7 - User Configuration

ISISはフレキシブルなコントローラーです。使用方法に合ったユーザー設定を作り、保存しておくことができます。コンフィグレーションはライブラリーとして保存でき、各プロジェクトと共に保存されます。

ユーザーコンフィグレーションは以下のように設定することができます。

**Settings > All Settings > Project > Controller Mapping** に行きます。

The following controllers are installed: 中のISISをクリックし、Propertiesをクリックし、ISIS Control Mappingウィンドーを開きます（もしくはリストの中でダブルクリックします）。



**Note :** ダイアログが開き、ISISコントローラーを設定できるようになります。フェーダーエクスパンションユニットを設定するにはウィンドー左上にあるFader Expansionタブをクリックし、左側の枠をFader Expansion Unitに切り替えます。

### Mapping Functions to ISIS Keys

右側の枠はPyramixの機能で割り付けることができる機能が、タブ付きページにリストされています。ISISのキーやフェーダーストリップに機能を割り付けるには、割り付けたい機能をクリックしてハイライトさせ、左側の枠にあるISISキーのリストで割り付けたいキーをクリックし、ハイライトさせます。

**Note :** ISIS上の殆どのキーは、FunctionとShift Functionにそれぞれ機能をアサインできます。適切なコラムをクリックしてください。

Pyramixの機能とISISのキーをハイライトさせたら、Assignボタンをクリックします。



コントローラーの枠は新しいマッピングを反映したものにアップデートされます。

### Removing a Mapping

ISISコントローラーのマッピングを取り除くには、コントローラー枠で取り除きたい機能をハイライトさせ、Removeボタンをクリックします。



コントローラーの枠は新しいマッピングを反映したものにアップデートされます。

## Special Mappings

### Selector

Tracks タブ・ページの中の機能 **Selector 1**から**Selector 48** は、ISISが**RECARM, RECMODE, SOLO, MUTE, SELECT**のモード時にトラックセレクトとして動作する特別なマッピングがされています。同様に、トラックキーと共に使用する**Set Maker Selector**と**Goto Marker Selector**もLCDファンクションキーにマッピングされています。

### Control Strip

**SHIFT**機能はミキサーストリップの一部の機能として既にマッピングされているため、コントロールストリップは**SHIFT**マッピングを持っていません。コントロールストリップがサラウンド・マスター/モニターとしてマッピングされている場合、PlayとWriteボタンはミキサー全体のオートメーション・コントロールとなります。**SHIFT**キーと使用するとこれらはMaster/Monitorバスのオートメーション・コントロールとなります。

### Invalid Mappings

マッピングできない機能もあります。例えばミキサーストリップのISISキーへの割り当てです。このような場合、警告ダイアログが現われ、マッピングは許可されません。



## LCD User Pages

以前に述べた様にUser Page 1は既にデフォルトの機能がアサインされています。このUser Page 1は、ユーザーマッピングを充分理解されるまで残されることをお勧めいたします。

コントローラー枠の一番下にUser Page 1と**New User Page...**の2つのタブがあります。



**New User Page** のタブをクリックすると、**ISIS Control Create New LCD Page** ダイアログが開きます。**Yes** をクリックすると新しいユーザーページを作成します。ファンクションキーのエントリは空白となり、**User Page X** (Xは現在あるユーザーページの番号が1つ増えた番号)と名前がついた新しいタブが現われます。

LCDファンクションキーへのマッピングは他のISISキーへのマッピングと同様に行いますが、以下の違いがあります。

- LCDファンクションキーは**SHIFT**の機能を持たない。
- ファンクションキーのLabelフィールドをダブルクリックするとラベル名を変更できる。

**Note** : ラベル名はスペースを含み6文字以下でなければなりません。

## Mapping Mixer Strip to ISIS Controller Strip

ISISリモートコントローラー上のフェーダーコントロールはPyramixのミキサーstrippに割り当てることができます。

ミキサーstrippとしてアサインした場合、コントロールできる機能は以下のようになります。

- ENCODER                                      ミキサーチャンネルPan/Balance ( **SHIFT**時、Font/Rear )
- ENCODER (Press)
- PLAY    Mixer Strip Play
- WRITE    Mixer Strip Write
- MUTE     Mixer channel Mute
- SOLO     Mixer channel Solo
- FADER    Mixer channel Gain

**Note** : ステレオstrippもサラウンド・コントロールが **Mirror Y Linking** となりますが、同様に動作します。このリンクはマッピングの一部ですので、Pyramix上で設定する必要はありません。

## Master/Monitor Strip

ISISメインユニット上のフェーダーコントロールstrippもしくはISISフェーダー・エクspansionのコントロールstrippが**マスター/モニターstripp**にアサインされている場合、

- ENCODER                                      モニターボリューム
- ENCODER (Press)                            モニター・リファレンス・ボリュームのリセット
- PLAY    マスター・オートメーションplay
- WRITE     マスター・オートメーションwrite
- MUTE    マスターボリュームmute
- SOLO    マスターボリュームdim
- FADER     Busゲイン

## Automation

**Note** : オートメーション・ボタンはMixer Stripsにアサインされている場合と**Master/Monitor Bus Strips**にアサインされている場合とでは異なる動作をします。

**Master Strip**にアサインされている場合、**PLAY**と**WRITE**のキーは別々にOn/Offをトグルし、オートメーションを下記のようにコントロールします :

- **PLAY** Off / **WRITE** Off                    = Isolate
- **PLAY** On / **WRITE** Off                    = Play
- **PLAY** Off / **WRITE** On                    = Record
- **PLAY** On / **WRITE** On                    = Auto-Write

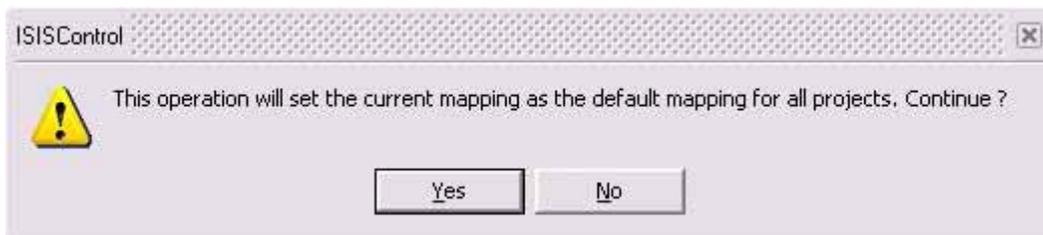
**Master/Monitor Bus**にアサインされている場合、**PLAY**と**WRITE**はどちらか片方のみが動作します。

- **PLAY** Off / **WRITE** Off                    = Master Automation Off
- **PLAY** On / **WRITE** Off                    = Master Automation Play
- **PLAY** Off / **WRITE** On                    = Master Automation Record

## Saving and loading Mappings

### User Mappings

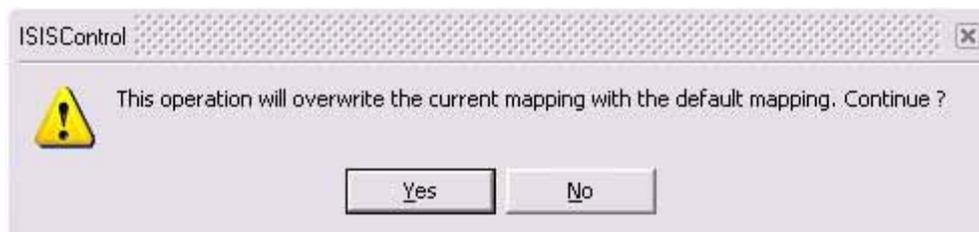
**Load** または **Save** ボタンをクリックするとWindowsファイルブラウザーが開きます。ISISのテンプレートファイルは **.map** の拡張子が付けられセーブ、ロードされます。**Load Default** をクリックすると下記のダイアログが開きます。



**Yes** をクリックすると、現在のISISマッピングを上書きし、**No** をクリックするとキャンセルします。

### Default mappings

**Save Default** をクリックすると、下記のダイアログが開きます。



**Yes** をクリックすると現在のマッピングがDefaultマッピングとなります。**No** をクリックするとキャンセルされます。

## Mappable Functions

Appendix I にマッピングできる機能がリストとして添付されています。

## Tips and Tricks

### Auto-Solo

Jogモードが機能しているとき (**Jog, Trim, Fade, etc**)、選択した部分のみを聞きたい場合があります。そのような場合は、**Settings > All Settings > Application > Jog/Chase ; Jog Settings** のセクションで **Auto-Solo Selection** にチェックを入れてください。

セレクトされていないトラックも聞きたい場合、ストリップ上の **SF** (solo-safe) ボックスをチェックしてください。

## Chapter 8 - ISIS Fader Expansion

ISISフェーダー・エクスパンションはミキシングの利便性を飛躍的に高めます。

- ISISメインユニットとは別に動作する、8つのコントロールストリップを装備しています。
- デフォルトではカーソルキーはマッピングされていません。
- フェーダーコントロールは、自動的にPyramix上のミキサーを8つのバンクに割り当てます。
- フェーダーの左側にある10個のキーの '1-8' を押すと、フェーダーコントローラーはミキサーストリップの1-8にアサインされます。同様に '9-16' を押すと、ミキサーストリップの9-16にアサインされます。
- ラッチキーである**PRESET**キーと使用すると、10個のミキサー**プリセット**を呼び出せます。
- これらミキサー**プリセット**では、どのPyramixのミキサーストリップでもISISコントロールストリップに割り当てることができます。
- ミキサー**プリセット**はISIS Control Mappingウィンドウの**Fader Expansion**ページにより割付ができます。

## Appendix I - Mappable Functions

マッピングできる機能は、ISIS Control Mappingウインドウの右側のタブ・ページにあります。表にはISISにマッピングできる機能が示されています。これらの機能と簡単な説明は、オンラインPDFドキュメントに書かれています。全ての機能の詳細は、**Pyramix User Manual** をご覧下さい。

## Appendix II - Technical Specifications

- **Isis-RC communication:** 10BaseT Ethernet over TCP/IP
- **Isis-FE communication:** to/from Isis-RC over RS-232
- **LCD screen:** backlit monochrome ble Dot Matrix 240 \* 64 pixels
- **Motorized fader resolution:** 1024 steps (10 bit)
- **Continuous rotary control action** with LED position indicators
- **Jog wheel resolution:** 100 pulses per rotation
- **Max power consumption:** Isis-RC 11Watt, Isis-FE 24Watt
- **Size:** 450mm (W), 300mm (D), 80mm (H)
- **Weight:** Isis-RC 3.5kg, Isis-FE 3.8kg

## Appendix III - Expansion Connector Pin-out

### Main Unit rear panel connector

DB15 Female Connector

Signal	DB-15-F	Signal	DB-15-F
DC POWER OUT	1	DC POWER OUT	9
DC POWER OUT	2	DC POWER OUT	10
DC POWER OUT	3	GROUND	11
GROUND	4	GROUND	12
GROUND	5	RS232 TX2	13
RS232 TX2	6	GROUND	14
GROUND	7	RS232 TX1	15
RS232 TX1	8		

### Fader Expansion Unit rear panel connector

DB15 Male Connector

Signal	DB-15-M	Signal	DB-15-M
DC POWER IN	1	DC POWER IN	9
DC POWER IN	2	DC POWER IN	10
DC POWER IN	3	GROUND	11
GROUND	4	GROUND	12
GROUND	5	RS232 TX2	13
RS232 TX2	6	GROUND	14
GROUND	7	RS232 TX1	15
RS232 TX1	8		

### Cable Specification

Maximum approved length:

1.5M

Cable Type:

ALPHA CABLE, 7-PAIR, 24AWG, SCREENED.

Part number:

5477C-100

Note:

Drain wire is connected to Pin 11 and must be insulated with sleeving

## Appendix IV - Troubleshooting / FAQ

### ISISがPCとつながらない

Pyramix上でISISが見つからない場合、まず **Settings > All Settings > Remote Control > Controller** でISISが登録されている部分の **Properties** をクリックし、**Controller Properties** ダイアログを開いて、**Enable** がチェックされているか確認してください。

Enableになっていない場合、チェックボックスをクリックして **Enable** にし、**OK** をクリックしてダイアログを閉じます。**Apply Changes to Controller** をクリックしてください。ISISが反応しない場合、一度 **Disable** にし、もう一度 **Enable** にしてください。

それでもISISが反応しない場合は、**ISIS Configuration** のコンボボックスにある、**Selected Device:** の**IPアドレス**が正しく設定されているかチェックしてください。IPアドレスが間違えて設定されている場合、**Chapter 3** の '**Setting the Static IP Address**' を参照し、変更してください。IPアドレスが見えない場合、接続とネットワークの設定を確認してください。